

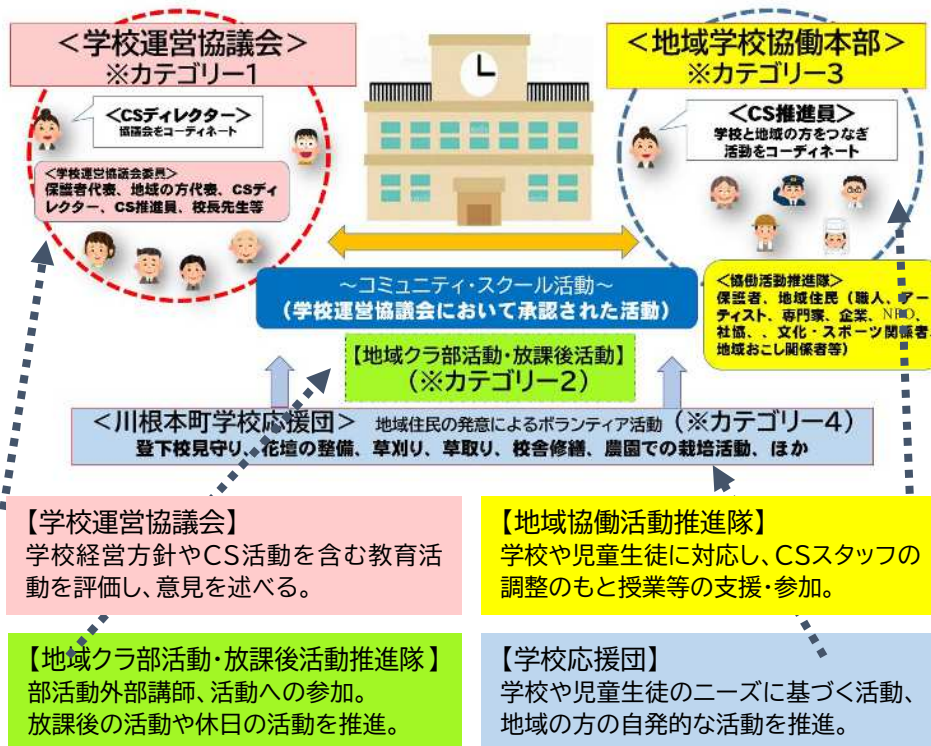
【川根本町型コミュニティ・スクール(CS)とは】

CS とは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

川根本町では、令和4年度より中学校区(義務教育学校)ごとに学校運営協議会を設置し、学校の経営方針や教育活動について意見をいただき、地域と連携・協働しながら、学校運営に取り組んでいます。

また CS のスタッフが、学校と支援してくださる地域の方をつなぎ、授業や行事、環境整備等に参加しています。児童生徒だけでなく、一緒に関わってくださった地域の方も、みんなのウェルビーイング(みんながここにいていいという持続的な幸せ)が実感できる活動をめざしています。

4つのカテゴリーで学校と地域との協働活動(CS 活動)を推進しています。



【令和 8 年度 地域クラ部活動実施に向けて】

令和8年度に本格実施をめざし、教育総務課に事務局を開設しました。児童生徒、学校職員、保護者、地域の方へ、今後の方向性を説明し、準備を進めています。

川根本町型地域クラブ活動移行計画

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
サッカー 地域の力が火曜日の夜、休日指導 野球 休日は外部コーチが指導 柔道 外部指導員が休日指導 弓道 外部指導員が休日指導 川根本町式地域クラブ活動在り方委員会の選出 委員会にて、今後の方向性等を検討 ・予備・周知・広報・支援・公募 地域クラブ活動事務局が設立に向けて	令和5年度にある部活動については、令和7年度までは部活動として保障する ※R7の夏までは部費対応 部活動指導員による指導スタート サッカー：部活動指導員が平日・休日指導 柔道、弓道、野球：部活動指導員が指導 全ての部活動で部活動指導員による指導スタート サッカー：部活動指導員が平日・休日指導 柔道、弓道、テニス、音楽：部活動指導員が休日指導 ※実情に応じて平日部活動も部活動指導員が指導 教員と部活動指導員が協力をして部活動を運営していく ・大会への5年生、教員が部活動指導者・指導者連絡会・専任教員会等への参加 R6年度 地域クラブ活動在り方委員会設立 R6年度 地域クラブ活動事務局設立 指導者や指導予定者への研修 R8年度からの部活動の統廃合について検討 部活動指導員の募集・依頼	地域クラブ部活動本格実施 全ての部活動が地域クラブ部活動となり平日も含め、部活動指導員が指導 学校にクラブ活動担当教員を指名おき、地域クラブや事務局と連携 今まであった部活動や新設したクラブ活動等の指導はすべて部活動指導員や地域の方が行う 地域クラブ活動の規約の作成 部活動指導員への勤務や報酬の管理	部活動指導員による指導スタート サッカー：部活動指導員が平日・休日指導 柔道、弓道、野球：部活動指導員が指導 全ての部活動で部活動指導員による指導スタート サッカー：部活動指導員が平日・休日指導 柔道、弓道、テニス、音楽：部活動指導員が休日指導 ※実情に応じて平日部活動も部活動指導員が指導 教員と部活動指導員が協力をして部活動を運営していく ・大会への5年生、教員が部活動指導者・指導者連絡会・専任教員会等への参加 R6年度 地域クラブ活動在り方委員会設立 R6年度 地域クラブ活動事務局設立 指導者や指導予定者への研修 R8年度からの部活動の統廃合について検討 部活動指導員の募集・依頼

※地域の方による部活動指導員も配置ははじめました。令和8年度には、平日も含め、すべての部活動で配置できるよう、準備しています。

【川根本町立義務教育学校】～R6年4月開校～

「川根本町立光の森学園」 校長 山下富士夫

- 学校教育目標
「自分・人・郷土」を愛する
- 重点目標
「輝く自分」をつくる
～自分で磨く 共に磨く～
- 全校児童・生徒数 (R6.4月現在)
前期課程 (1～6年生) 33名
後期課程 (7～9年生) 28名
- <所在地>
〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町
- <連絡先>
TEL 0547-59-2026 FAX 0547-
E-mail K-hikarinomori.1@kawan



「川根本町立三ツ星学園」 校長 石川泰宏

- 学校教育目標
学びをひらく 未来をひらく
- 重点目標
個性を磨き 考え 行動するわたし



「一人でもみんなでも」一人一人が主役となる学びをめざして

新学習指導要領の理念や教育へのニーズに対応した教育活動	授業改善から学びの構造転換へ 子供観・授業観の構築構築 (本物・個別・探究・協働)	自由進度学習・探究学習・異学年の活動づくりを推進 R6 授業の継続等
------------------------------------	--	---

町研修テーマ 「主体的に学ぶ ～私が学びの主人公！～」

【願う子供の姿】 各教科の特性を生かした学習や教科横断的な学習の中で、自分で学び、みんなで学び、付けたい資質能力を高めている姿
(※学びに向かう力、理解する力、理解していることを活用する力)

川根本町型問題解決学習

か：かならず確認、学習のねらいと内容を確認めよう。

わ：わからないことをはっきりさせて、まずは自分でチャレンジしよう。（主体的な学び）

ね：ねらいに向かい、みんなで考えを高め合い、深め合おう。（対話的な学び）

ほん：ほんとうに“できたか”“わかったか”学習を振り返ろう。（深い学び）

ちょう：ちょうせんしよう。もっと知りたい、自分の学びに向かってさらなるチャレンジ、ステップアップしよう。

9年間の継続した取組で、
一人一人が自立した学びを身につける！！

2024

川根本町学校教育ビジョン

～ 「自立」と「共生」が育つ義務教育学校・スクールコミュニティをめざして ～

令和6年9月

川根本町教育委員会

北極星＝川根本町の教育の共有ビジョン
～0～18歳、さらに10年後20年後のキャリア発達を目指して～
目指す児童生徒像

夢に向かい、志を持って未来を切り拓く児童生徒

「関わり」を大切にして、ふるさと川根本町を愛する児童生徒

児童生徒に育みたい資質・能力

- 1 自分らしさを見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動する力
- 2 未知の問題に対して自ら立ち向かい、Try&Errorを繰り返しながらやり遂げることができる力
- 3 持続可能な社会を目指し、次代の地域を共に創っていく力
- 4 豊かな感性を持ち、感動を分かち合う力
- 5 他者の存在を認め、多様な関係を結ぶ力



↑川根本町の教育の共有ビジョンを「北極星」にたとえ、児童生徒、教職員、保護者、地域の方、みんなで北極星をめざします。
(※令和3年度に行われたプロジェクトワーキング(保護者・地域代表、教職員)で協議し、作成)

<R6～8>川根本町重点施策

- 子供の主体性と多様性を踏まえて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、未来と世界を指向し、川根本町の特色を生かした持続可能な義務教育学校を推進する。
- すべての子供たちの安全安心な生活・学び、確かな成長を支えられる教育環境を整備、充実させる。
- 未来を開く魅力ある高校教育の充実に向け、地域と協働した町ぐるみの支援及び義務教育との連携・交流を推進する。
- 教職員が高い使命感とやりがいをもって教育に打ち込める環境づくりを推進する。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
義務教育学校	★義務教育学校の基盤をつくる。 教育活動の実践 工夫・改善・浸透 ★特徴的な教育活動の検討 学年制の検討・教科担任・授業の構造改革・働き方、居場所づくり		★特徴的な義務教育学校の教育活動の発信・さらなる発展
地域協働	★義務教育学校でのCS(コミュニティ・スクール)開始 まるごとカフェ開始 CS拠点づくり ★地域クラブ活動検討委員会設置	★CSの活動の浸透・充実 ★部活動指導員すべてに配置	★CSの活動の浸透・充実 ★地域クラブ活動、放課後活動の本格実施
教育行政	★義務教育学校下での次世代教育の推進 ★川根本町型地域クラブ(クラブ部活)移行説明会の実施事務局設置	★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理 ★アラウンドスクールの位置づけ・検討・構想共有	★学校教育ビジョンによる次世代教育の進行管理 ★アラウンドスクール構想推進

【学校教育基本目標】

- (1) 内発的動機をもって主体的に行動し、他者とかかわり合いながら共に学びを成長していく、「自立」と「共生」が育つ学校をつくる。
- (2) 相互に承認された自由・人権が保障され、一人一人が尊重し合い、誰一人取り残されず可能性を伸ばしていく学校をつくる。

【人づくり・学校づくり・地域協働の基本方針1】

一人一人の才能や可能性を見つけ引き出し、個性を尊重しながら資質・能力を伸ばしていく、未来と世界を指向した教育を推進します。

【人づくり・学校づくり・地域協働の基本方針2】

町の財産(ひと・もの・こと)が丸ごと学校へかわり、川根本町だからこそできる社会に開かれた教育を推進します。

【人づくり・学校づくり・地域協働の基本方針3】

学園構想を踏まえ、世代を超えた交流の拠点として、地域と協働しながら共に歩み地域に元気を発信し貢献していく義務教育学校の基盤をつくりま

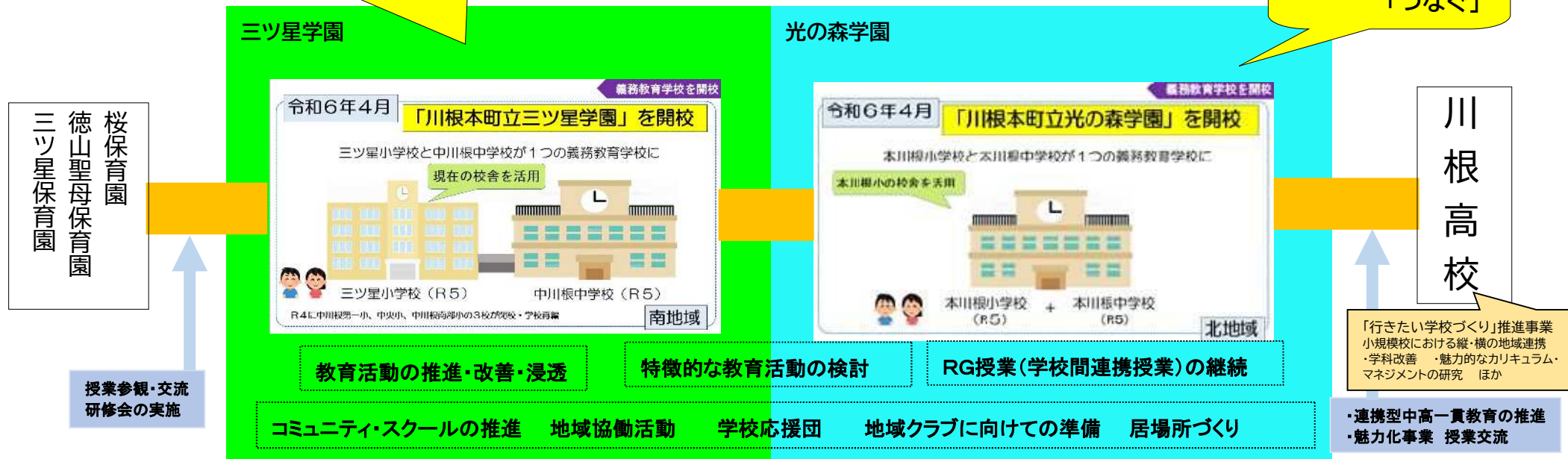
R6
義務教育学校の
基盤をつくる

「小規模校のよさを生かした」、2校のそれぞれ特徴ある義務教育学校に

「自立」と「共生」が育つ義務教育学校

学校現場の創意を大事にした 義務教育学校をつくる

キーワードは
「つなぐ」



0～18歳までのキャリア発達をめざして、保育園・高校、関係機関をつなぐ 系統的なキャリア教育の体制をつくる。

R6年度 取組の重点

取組①「一人でもみんなでも」一人一人が主役となる学び

- (授業改善から授業の構造転換へ 観の転換)
- ★個別最適な学び(自分らしい学び)と協働的な学び(仲間との学び)の追求・積み重ね
(川根本町型問題解決学習・自由進度学習・探究学習・同学年・異学年の活動づくり・RG授業継続)
- ★町研修推進委員が授業の構造改革の推進役となり、授業の構造改革を推進する。
- ★川根本町型授業作り研究員を委嘱し、観の転換を図る。
- ★視察研修を実施 義務教育学校の授業づくり、教育課程に生かしていく。
- ★義務教育学校のよさを生かすための教職員・臨時講師・支援員等の配置

取組③「一人一人が尊重され、誰一人取り残さない支援体制の構築」

- ★0～18歳までの系統的なキャリア教育の体制づくり
つなぐがキーワード 幼保・高校との連携を進める。
- ★生徒指導、特別支援教育の充実
生徒指導提要の浸透推進(居場所づくり・絆づくり、未然防止、初期対応、事後指導)
SC・SSW・町相談員・関係機関との連携 通級指導の充実 特支アドバイザー招聘
- ★アラウンドスクール構想(R8に向け)
学校をとりまく放課後活動等、子供の思いに応えられる活動、可能性を広げる場を検討

取組②「町から世界へ 世界から町へ」

- ★川根本町のよさを実感するカリキュラム開発 探究学習の充実
総合的な学習の時間、子供議会開催、景観まちづくり(県指定研究:光の森学園)
- ★情報の発信・受信 町と世界をつなぐ 外国との交流活動
カナダ研修、インド研修(Zoho ジャパン協力)、海外インターン生との交流
- ★ICT環境のさらなる充実
タブレット端末 7年目 実践活用さらなる発展へ 国内外オンライン ICT支援員の配置 環境整備の充実

取組④地域と共に創る学校(スクール・コミュニティをめざして)

- ★CS(コミュニティ・スクール)の浸透、充実を図る。
みんなのウェルビーイング 川根本町型CSをめざして
学校運営協議会、地域協働活動、学校応援団、CSスタッフ企画 わんぱくチャレンジS継続・まるごとカフェを実施
- ★部活から地域クラブ活へ、検討委員会設置(R8に向け)
制度設計、予算検討、地域指導者の推進、情報発信・理解の共有

